



9月 くすのみ便り

令和7年 8月 30日 発行



社会福祉法人 くすのみ福祉会

ひらまつの杜

ひらまつの杜 法人理念 「鎮守の森を保育の庭に」

・四季折々の豊かな自然がある環境の中で自然と共に生きる気持ちを大切に感じる心を育むこと

保育理念 「つなぐ」 過去・現在・未来を

・ひとりひとり自分らしさを十分に発揮し、自らの夢や希望を大切に、希望をもって夢を実現できる社会を共に創造していく

9月を迎えても日中はまだまだ暑い日が続いていますが、日没が心なしか早く感じられ、季節の移ろいを感じています。秋分の日、太陽が真東から昇って真西に沈むことで昼と夜の長さがほぼ同じになり、それ以降は秋の夜長に向かいます。厳しかった残暑に目途がつくため、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるようになりました。秋分の日「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」とされています。単にお休みの日というだけでなく、日本の伝統的な価値観や、家族の絆、そして私達一人ひとりのルーツに思いを馳せる大切な一日として、忙しい毎日の中でふと立ち止まり、ご先祖様に感謝する時間を持ちましょう。 園長 日高 節子

9月 行事予定

1	月	神社参拝	17	水	9月生まれのお誕生会
2	火	サッカー	18	木	献立作成会
3	水		19	金	
4	木	おべんとうの日	20	土	
5	金	スイミング 施設長会	21	日	
6	土		22	月	園内研修
7	日		23	祝	秋分の日
8	月	太鼓 10:00~ 英会話	24	水	避難訓練
9	火	サッカー	25	木	運動会予行練習
10	水		26	金	スイミング
11	木		27	土	芳生苑秋祭り (年長組)
12	金		28	日	
13	土		29	月	英会話
14	日		30	火	
15	祝	敬老の日			
16	火	神社参拝 身体計測 職員会 制度部会			

おたんじょうびおめでとうございます！

ごとう ちほ さん 1さいになります
9月入園のおともだちです。仲良くあそびましょうね！



ながとも あのん さん 1さいになります
9月入園のおともだちです。仲良くあそびましょうね！

くろぎ すずは さん 4さいになります
お友だちに様々な事を教えてあげています。すずは先生の様です。

たはら ゆうり さん 5さいになります
線路を繋げて電車を走らせています。一つ一つの事を丁寧にしています。

とやま ひろゆき さん 5さいになります
小さなブロックや大きなブロックなど、組み立てる作業が好きです。

〇そうめん流し

夏の風物詩の一つ、そうめん流しをしました。竹の中を、冷たい水と共にスルスルと流れてくるそうめんに見とれ、最初は思わず見送ってしまう子どもたち。おっと！すくわなきゃ！と思った様で、次に流れてくるそうめんは、フォークを使って上手にすくうことができました。食べなくちゃ！でも流れてくる！の繰り返しで忙しそうなおともだちでした。何度も何度も竹の周りに集まり、挑戦していましたよ！



〇お泊まり保育

保育園生活でのお楽しみの一つ。お泊まり保育！子どもたちでどこに行きたいか、そこまで何で行くのか、ごはんは何を食べる？夜ご飯、朝ごはんは何を作る？ということを考えて話し合います。話し合いがまとまったら、子どもたちが園長先生に相談に行き、決定していきます。今回、子どもたちが選んだ行先は、宮崎ブーゲンビリア空港！電車に乗って出かけました。パイロットさんが出発前に機内から手を振ってくれた事がとても嬉しかったようでした。パイロットランチを食べ、園に戻り、夜ご飯を食べ、手づくりのランタンを持つての夜のお散歩、花火、泡プールと盛りだくさんの1日で子どもたちはみんなすぐに眠りにつきました。朝は起きて、ラジオ体操からの神社参拝。朝ごはんは手づくりホットドックを食べました。みんなの意見が形になるお泊まり保育。最初は不安な気持ちもありながらも、お友だちとたくさんの事を経験するうちに、ワクワクでたまらない気持ちが勝っていった様でした。保育園での楽しい思い出として心に閉まっておいてね。



〇あたらしいおともだち

ひよこぐみ
ごとう ちほ さん ながとも あのん さん
みんなでなかよくあそびましょうね！



〇カブトムシ

この夏生まれた6代目のカブトムシが、卵を産みました。カブトムシと一緒に卵を入れていると、卵を食べてしまう可能性がある為、卵を土の中から見つけ、他のケースに移します。たくさんの卵を産んでおり、もうすでに、卵から生まれて幼虫になっているものもいました。こんなにたくさん卵を産むのに、成虫になるのは、ほんの数匹です。生まれてきた7代目の幼虫を、子どもたちと大切に育てていきたいと思っています。



白いの卵だよ！

〇九州地区神社保育講習会

8月23日、24日に行われた九州地区神社保育講習会に、園長と職員7名が参加しました。「安全な教育・保育の環境について」・保育事故を防ぐには・不適切な保育を防ぐにはという講演でした。

生きていることは奇跡の連続であるということ。生きていることは、当たり前ではないこと。子どもを誰一人残す事なく、健やかな成長を社会全体で後押ししていくこと。愛を持って接し、命をしっかり守っていくことの大切さを学びました。



これからのひらまつの杜の保育に生かしていきたいと思っています。

〇あたらしい先生

比江島 亜由美 様 よろしくお願ひ致します。

